

『田んぼの生き物調べ』

R3 年度

富山市立上条小学校

●実施状況

上条小学校の児童4～6年生が、富山市水橋平塚地内の農業用排水路にて、田んぼの生き物調べを実施しました。はじめに小学校前で田んぼの役割などの説明を受けた後、水路へ移動しました。生き物捕獲では、はじめは恐る恐る水路へと網を入れていたものの、いざ生き物を捕まえると歓声を上げながら夢中になっている様子でした。生き物観察では、配布された生き物図鑑を用いて種類を調べ、水槽や目盛り付きホワイト皿を用いて生き物の大きさも調べました。

今回の活動により、生き物を通して自然環境への関心が高まるとともに、農業用排水路の役割や農業のもつ多面的機能について考えるきっかけとなりました。

場 所 : 富山市水橋平塚地内
(農業用排水路)

実 施 日 : 令和3年6月24日(木曜日)

参 加 者 : 上条小学校4年生～6年生36人
上条用水土地改良区職員2人
地元関係者6名
市町村、県職員12人

計56人

活動内容: ・捕獲調査
・観測及び記録
・捕獲生物の説明
・農業用施設等の役割説明

捕獲生物: ドジョウ、タモロコ、モクズガニ、
トノサマガエル、カワニナ、ヤゴほか



●参加児童の感想

4年生 児童

用水の中を見てみたらあまり生き物がみあたりません。しかし用水に入って調べてみるとたくさんいました。地域の方が大きなカニを見つけ、カニがいるんだとおどろきました。

5年生 児童

水は、おいしいお米を作ったり、生きものたちが育つためにととても大切なことがわかりました。

6年生 児童

田んぼのいろんな役わりがわかりました。初めて知ったのは、雨の日に水をたくわえることと生き物をたくさん生みだしてくれる働きです。